



しいの木会報

Fun to SHIKOKI , Again

(ファン トウ シイノキ アゲイン)

2014～2015 年度

(お花見移動例会特集号)

花を愛で

お茶を点て

美酒に酔う



桜の大樹の下で



平成 27 年の 4 月第一例会は移動例会となり、4 月 4 日(土)、国立オリンピック記念青少年センターにおいて開催されました。「花より団子」と言われますが、今回は「花も団子も」、しかも「さらに優雅にお茶も」と大変欲張った企画となりました。

今回は、和やかで品があり、そして賑やかに過ごした楽しいひとときを特集します。

当日のお茶会は、杉山しのお師匠さんでもある裏千家今日庵准教授後藤宗京様のご指導の下、杉山しのお点前をいただきました。

お菓子をいただく永田し、小倉様、大場様、武市し（左から）



床を拝見する岩佐し



静寂な中でお点前中の杉山し
中央は檜崎し

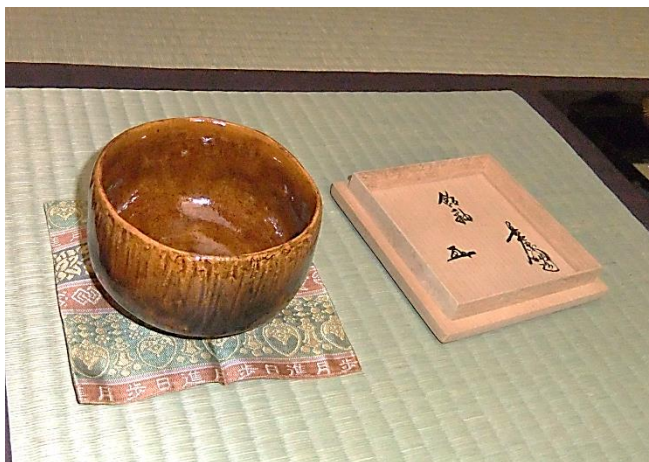


緊張の面持ちでお点前をいただく
武市し（中央）と石野会長



左から関口し、竹内し、石野会長の奥様、石野会長のお嬢様の森原祐美子様とお孫さんの森原楽君

6歳の楽君もお作法に倣って



お師匠の後藤様秘蔵のお茶碗は、金沢の楽焼きで、人間国宝十代大樋長左衛門の作だそうです



数年間の修練を経た杉山しの所作は素人目にも余裕と落ち着きがありました。杉山し、お疲れ様でした。

ご指導いただいた師匠の後藤様、お手伝いいただいたお弟子さん、有り難うございました。

お茶会の後は、お酒とともに宴席です。
大役を終えた杉山しほか、当日参加の
ゲストも交えて食事を楽しました。



篠崎元し（左端）にもご参加いただきました



ゲストも交えて和やかに
左から武市し、関口しの奥様、同友人
の小川様、小倉様、大場様

庭を臨むお部屋で食事は美味しく進みます
左から寺崎し、関口し、足利し、永田し



左から榎崎し、岩佐し、篠崎元し、白川し、杉山し



メンバー突撃インタビュー 「異次元の世界へ」

赤塚明治 L

『突撃インタビュー』の2回目の今回は、「伝説のサーファー」赤塚明治 L です。



Q. サーフィンを始めたのは?

A. 中学3年の時に、サーフィンを始めた先輩が「往復の車中、眠くならないようにずっと面白い話をしている」と連れて行かれたのがきっかけでした。なぜか、最初からボードの上に立てたんですよ。仕事でできない時期もありましたが、それ以来ずっと続けています。ほぼ毎年、夏休みはバリ島でサーフィンをしています。昔は若気の至りで大会にも出場しました。

Q. どこでどのくらいの頻度で?

A. 昔は、茨城・福島・宮城まで行っていましたが、今は九十九里（一宮・東波見など）か南房総（鴨川・和田）です。一年を通して、ほとんど毎週末に。ちなみに、初日の出も海の中です。

Q. 「サーファー」はカッコよくて女性にもてて…というイメージですが

A. 一見、軟派なスポーツに思われがちですが、実際はとてもハードで体力のいるスポーツです。波に乗っている楽しい時間はほんの僅かで、ほとんどは海の中でパドリング（ボードの上に腹ばいになって手で漕ぐ）をしています。つまり、自分がパドリングして乗り越えられる大きさの波にしか乗れないわけです。さらに、カレント（離岸流）の見分け方や天気図の見方などいろいろな知識も必要です。



赤塚 L と三男の拓志(ひろし)君(15 歳)
後ろは二男の豪也(としや)君 (18 歳)

Q. 危険な目に遭ったことは?

A. バリ島のサーフポイントの海底はサンゴ礁や岩です。潮が引いているときにワイプアウト（波に煽られてひっくり返る）してしまい、体が海底のサンゴ礁や岩に切り刻まれて血だらけになりました。バリ島は日本と違い、岸からポイントまでだいぶ離れていて、岸からカヌーに乗って行きます。血だらけ傷だらけで岸までパドリングで戻るなんて到底無理です。「どうにでもなれ」と開き直ってサーフボードの上に腹ばいになって打ち寄せる波に身を任せました。いつの間にか水深の深いところまで流されて、カヌーに拾い上げてもらいました。ハワイのノースショアにあるパイプラインという有名なビッグウエーブのサーフポイントでは毎年、何人ものサーファーが命を落としています。

Q. それでも続けるのは?

A. 同じ形の波、同じタイミングで崩れる波は絶対になく、乗る波一つひとつが初めて乗る波です。その波を自分が思い描いたとおりに乗りこなした時の気分は最高ですし、1 週間の嫌なことなど全て吹き飛んでしまいます。特にチューブ（波のトンネル・右の写真）に入ったときは、異次元の世界で表現の仕様がありません。



本年度アクティヴィティ報告(30周年記念アクティヴィティを含む)

東日本大震災による震災孤児を支援する
「みちのく未来基金」へ金一封

中野区内の交通遺児へ金一封

中野区へ車椅子 20 台と金一封

剣道ライオンズ少年剣道大会へ金一封

わんぱく相撲中野大会へ金一封

江古田獅子舞保存会へ金一封

中野区立塔山小学校「塔山まつり」出店

社会を明るくする運動「少年サッカー教室」にサッカーボール贈呈

フィリピンイロイロプロフェッショナルLCの奨学金制度支援

フィリピンイロイロプロフェッショナルLCへ衣類の贈呈

(アクティヴィティ 合計300万円)



奥村元Lのご協力を得た
車椅子には当クラブの
マークがついています



中野区障害者福社会館の田窪館長と当クラブ
の石野会長、関口実行委員長、杉山L(左から)



編集 東京しいの木ライオンズクラブ
PR 情報委員会

永田晴夫 赤塚明治 寺崎 務 足利與志勝
岩佐哲雄 内川和久 杉田數祐 佐々木富也